

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2602		
科目名	危機管理基礎演習Ⅱ		
担当教員	木下 誠也		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 2		
講義室	1311	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる論理知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F〔探求力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕 文章口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（10%） E1 学識と専門技能（40%） F1 探求と論拠（10%） G1 状況把握（10%） H1 論理的思考（10%） I3 情報分析（20%）		
教員の実務経験	2009年までの31年余にわたり国土交通省をはじめ内閣府や地方公共団体その他の勤務を通じて防災のためのインフラ整備や災害対応の実務に関わりました。実務上の知見と経験を生かした演習を行います。（第2回、第8回、第15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	危機管理に属する諸問題について、学生が多様な観点と価値観を持ち寄ってこれを集団的に検討していく過程で必要なスキルと知識を統合的に学ぶために、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学系科目、又は、専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ若しくは情報セキュリティに4領域に属する危機管理系科目を担当する教員が「個別クラス」を担当し、教員の研究領域の特性に即して問題を設定し、検討手法等を指導します。3年次以降の危機管理特殊研究における、より専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本科目では、危機管理上の諸問題の背景や原因の特定からはじめて、その解決に向けて集団的に研究を進め、その成果をプレゼンテーションによって表現することまでを行います。授業形態は演習形式により行いま		

	す。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 （キーワード）・危機管理 ・集团的検討 ・危機管特殊研究への橋渡し										
授業の趣旨	■副題 災害や事故による被害を最小限にする事前の対策（リスクマネジメント）および災害や事故が起きたときの対処策（クライシスマネジメント）について、実際に起きた事例をもとに学ぶことにより、防災・危機管理に関する基礎的な研究能力を養いましょう。 ■授業の目的 危機管理、とりわけ災害マネジメントに関する諸問題の背景と内容の理解、集团的な検討手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①協働力・牽引力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピテンスの開発を行うことを目的とします。 ■授業のポイント 将来のキャリアを見据えた学びにおいて、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚を持つことも望まれます。										
総合到達目標	■防災・危機管理に関する基礎を学識として把握し、これを集团的な知見の統合を通じて解釈して知見を見出すとともに、その成果を表現することができる。 ・防災・危機管理に関して学んだことを踏まえて、現状と課題を説明できる。（第1～第2回） ・防災・危機管理に関する研究の既往文献を読み、学習した成果を説明できる。（第2～5回） ・防災・危機管理に関する文献に基づきレジュメを作成、他者に内容を説明することができる。（第3～第7回） ・グループワークを通じて、防災・危機管理に関する様々な課題について説明し、他者と議論することができる。（第8～12回） ・研究成果を発表して自分の意見を説明し、他者の研究に対して意見を述べることができる。（第6～7回、第13～第15回） ・防災・危機管理に関する情報分析を行い、論理的に解釈して説明することができる。（第1～15回）										
成績評価方法	■授業参加度（60%）：適用ルーブリック G1 （評価の観点）災害の危機管理に必要な学識と分析力を身につけるために積極的に授業に参加したか、理解が十分かどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業の中でフィードバックします。 ■とりまとめ発表 2回（40%）：適用ルーブリック C1、E1、F1、H1、I3 （評価の観点）災害の危機管理に関する基礎的な知識を習得し、防災・危機管理に関する基礎的な研究能力を評価します。 （フィードバックの方法）後日評価の観点を示します。										
履修条件	特にありません。災害マネジメントに関する研究に興味がある学生を歓迎します。										
履修上の注意点	特にありません。										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。併せて後期15回の授業内容を説明する。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループワークを行い、グループ毎のテーマ設定を行う。実務経験に基づく話題提供を適宜行う。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。併せて後期15回の授業内容を説明する。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。	2	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループワークを行い、グループ毎のテーマ設定を行う。実務経験に基づく話題提供を適宜行う。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。	3	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。	4	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。併せて後期15回の授業内容を説明する。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。										
2	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループワークを行い、グループ毎のテーマ設定を行う。実務経験に基づく話題提供を適宜行う。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。										
3	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。										
4	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。（C1、E1、F1、G1、H1、I3） ③予習（120分） 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習（120分） ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。										

5	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。理路整然とした思考ができるようにする。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
6	①授業テーマ グループ発表 ②授業概要 各グループの研究成果を発表し、全グループ間における意見交換を行う。グループ課題について自分たちなりに考察し、自分たちの言葉で説明できるようにする。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
7	①授業テーマ グループ発表 ②授業概要 各グループの研究成果を発表し、全グループ間における意見交換を行う。グループ課題について自分たちなりに考察し、自分たちの言葉で説明できるようにする。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
8	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 7回までの研究を踏まえて後半における個人(又は小グループ)の研究テーマを再設定してグルーピングする。実務経験に基づく話題提供を適宜行う。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
9	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 小グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。情報の収集と取捨選択、分析をして、課題の解決につなげることができるようになる。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
10	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 小グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。情報の収集と取捨選択、分析をして、課題の解決につなげることができるようになる。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
11	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 小グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。情報の収集と取捨選択、分析をして、課題の解決につなげることができるようになる。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
12	①授業テーマ グループワーキング ②授業概要 小グループ毎にディスカッションを行うとともに、全グループ間における意見交換を行う。情報の収集と取捨選択、分析をして、課題の解決につなげることができるようになる。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
13	①授業テーマ 研究発表 ②授業概要 個人(又は小グループ)の研究成果を発表し、全員で意見交換を行う。課題について自分なりに考察し、自分なりの言葉で説明できるようにする。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。
14	①授業テーマ 研究発表 ②授業概要 個人(又は小グループ)の研究成果を発表し、全員で意見交換を行う。課題について自分なりに考察し、自分なりの言葉で説明できるようにする。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の軌道修正を行う。

	15 ①授業テーマ まとめ ②授業概要 研究成果発表を踏まえて、実務経験に基づく講評を受けて全員で意見交換を行い、学習した内容を振り返る。(C1、E1、F1、G1、H1、I3) ③予習(120分) 事前に基礎研究を進めて、自分なりの説明をまとめる。 ④復習(120分) ディスカッションを踏まえて、自分の基礎研究の振り返りを行う。
関連科目	①演習系科目としては、「自主創造の基礎1・2 RMGT1215,RMGT1216」・「危機管理基礎演習Ⅰ RMGT2601」・「ゼミナールⅠ～Ⅳ RMGT4601～4」・「危機管理特殊研究1～4 RMGT4611～4」と関連する。とくに、「危機管理特殊研究1～4 RMGT4611～4」への橋渡しの意味をもつ。②講義科目については、「自然災害論RMGT3503」、「災害と法RMGT3401」、「地域防災論RMGT3505」。
教科書	■①木下誠也『自然災害の発生と法制度』コロナ社、2018、ISBN 978-4-339-05256-5、②木下誠也『地域防災とライフライン防護』コロナ社、2018、ISBN 978-4-339-05261-9
参考書・参考URL	■大石久和・藤井聡『国土学』（北樹出版・2016）、石井一郎他『防災工学（第2版）』（森北出版）、河田恵昭『日本水没』（朝日新書・2016）、土屋信行『首都水没』（文春新書・2014）、玉真俊彦『管があぶない』（ぎょうせい・2011）、武部健一『道路の日本史』（中公新書・2015）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 掲示板にてお知らせします。メールにて事前にアポイントメントをとってください。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント70%、パブリックセキュリティ10%、情報セキュリティ10%、グローバルセキュリティ10% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学80%、法学20%

